

## <基本情報>

所在地：大分県玖珠郡九重町

## <農場概要>

- 面積：1.6ha（すべて有機栽培、うち有機JAS認証：0.8ha）
- 従業員：約10人（家族3人、パート複数人※時期によって増減）
- 栽培品目：ブルーベリー（約30種類の品種をリレー栽培）



## <有機農業に取り組むきっかけ>

- 2008年に公務員を早期退職。両親が少量で栽培し、当時九重町が産地化を推進していたブルーベリーに魅力を感じ、2013年から栽培を開始。現在では県内トップクラスの1.6haまで生産規模を拡大。
- 2013年に宮崎県で開催されたGLOBALG.A.P.の会議に参加したことを契機に、国際的な第三者認証への高い関心を持った。
- 2016年にGLOBALG.A.P.、2019年に有機JAS認証を取得。時間も費用もかかるが、取引先からの信頼と販路拡大に寄与。
- 2024年には、みどり認定を受ける。

## <販売について>

- 東京、大阪、福岡をはじめとする県外の大手スーパーや生協を中心に販売。
- GLOBALG.A.P.や有機JAS認証の取得は外資系企業との取引にも有益。



## <リスク分散、周年出荷について>

- 地熱利用ハウスや標高の異なる複数ほ場での栽培によりリスク分散するとともに、冷凍加工品を生産することで、生果との周年出荷体制を実現。

## <農福連携について>

- 社会福祉法人へ摘み取りや選別の作業を委託し、農福連携にも取り組む。

【お問合せ先】 Tel・Fax 0973-78-8917  
代表者携帯電話 090-3329-0507

## <病害虫対策・除草対策・土づくり>

- **病害虫対策**  
剪定作業では、風通しを良くし樹体全体に日光が当たるよう留意。
- **雑草対策**  
刈払機や自走式草刈機を使用。近年の高温対策として地温が上がり過ぎないように、雑草の丈を調整しながら高切りにしている。
- **土づくり**  
取引先のニーズに応じた土づくりを実践。有機JAS認証ほ場では使用可能な堆肥資材を散布。特別栽培ほ場ではアミノ酸由来の資材を使用するほか、町内業者が製造する珪藻土由来の資材を利用し土壌のPh調整を行っている。

## <苦労しているところ>

- 収穫や除草作業は人力だよりとなるので、人材確保に苦労。

## <取組の成果>

- 2024年度大分県農業賞（個人的農業経営部門）で最優秀賞を受賞。有機生産者の同賞受賞は画期的なこと。

## <今後の展開>

- 2025年産から、収穫後の紅葉したブルーベリーの枝を「枝物」として販売。
- 将来的には、農福連携の観光農園を運営したい。
- 目標は「ビッグでなくストロング」。

